



Infor LN 価格設定ユーザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	compcgug (U9179)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017年12月19日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
価格設定の概要.....	7
価格設定管理マトリックス.....	7
価格設定情報の取得.....	7
価格管理 - オプション処理.....	7
マトリックス構造.....	7
価格設定マトリックス.....	8
価格設定マトリックスの要素.....	9
価格設定マトリックスの設定.....	9
価格情報取得プロセスの概要.....	10
価格設定情報を取得するための一般的な検索ロジック.....	10
価格設定情報の取得.....	10
第2章 価格.....	11
価格マトリックスの設定.....	11
価格マトリックスの設定.....	13
発注先価格帳の設定.....	14
価格の取得.....	15
第3章 値引.....	17
値引マトリックスの設定.....	17
値引スケジュールの設定.....	19
契約時の値引スケジュール.....	21
値引スケジュールの契約へのリンク.....	22
複数の値引スケジュールの契約へのリンク.....	22
複数の値引レベル.....	24
設定/適合.....	24
値引価格の取得.....	25
契約からの値引情報の取得.....	26
価格帳または値引マトリックスからの値引の取得.....	26
第4章 販促.....	29

販促マトリックスの設定.....	29
販促シナリオ.....	31
ラインレベルの販促.....	32
オーダレベルの販促.....	32
販促情報の取得.....	32
第5章 輸送レート.....	35
輸送レートマトリックスの設定.....	35
輸送レート帳の定義.....	37
例.....	38
ゾーン.....	39
ゾーン.....	39
ゾーンの定義方法.....	39
ゾーンの使用.....	39
輸送レートの取得.....	40
第6章 オプション処理.....	41
価格設定 - その他の処理.....	41
価格帳のコピー.....	41
見積の発注先価格帳へのコピー.....	41
価格情報の削除.....	41
特定ラインの価格情報の表示.....	42
在庫残高を在庫レベルに一致.....	42
価格と値引のグローバル更新.....	42
品目データから価格帳への価格のインポート.....	43
一般キーの再作成.....	43
価格および値引の再計算.....	43
価格のシミュレート.....	43
ライン値引の表示とメンテナンス.....	43
付録A 用語集.....	45

索引

文書情報

このガイドでは、アプリケーション内で価格、値引、販促、および輸送レートを設定して使用する手順を説明します。

対象者

LN の価格設定機能全体の理解を目的とする (主要) ユーザ

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	価格設定の主要処理の概要と情報
第 2 章	価格	価格の設定と取得
第 3 章	値引	値引の設定と取得
第 4 章	販促	販促の設定と取得
第 5 章	輸送レート	輸送レートの設定と取得
第 6 章	オプション処理	価格設定のその他の機能

参照

このガイドは、価格設定の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 資材価格設定ユーザガイド U9865 JA
資材価格設定機能を理解するために使用します。
- 価格ステージユーザガイド
価格ステージの機能を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプトピックから作成されたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「価格設定」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示した場合、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動できます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。ますようお願いいたします。

価格設定の概要

価格設定モジュールでは、価格情報を保存および取得できます。

価格設定管理マトリックス

正しい価格情報を取得して、オーダー、積荷、出荷の価格、値引、輸送コストを計算するために、価格マトリックスを定義できます。マトリックスとは、価格設定情報が特定の基準に従ってグループ化されている構造です。

詳細は、次の情報を参照してください: マトリックス構造 (ページ 7)

価格設定情報の取得

価格、値引、および販促の取得と計算は、オーダーまたは契約が保存されるときに一度に実行されます。輸送費は、積荷構築が実行される時か、ユーザが販売オーダー、購買オーダー、輸送オーダー、または出荷から輸送費計算処理を開始するときに計算されます。

詳細は、次の情報を参照してください: 価格情報取得プロセスの概要 (ページ 10)

価格管理 - オプション処理

価格設定では、オプションで多数の処理を使用できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 価格設定 - その他の処理 (ページ 41)

マトリックス構造

正しい価格情報を取得して、オーダー、積荷、出荷の価格、値引、輸送コストを計算するために、価格マトリックスを指定できます。マトリックスとは、価格設定情報が特定の基準に従ってグループ化されている構造です。

価格設定マトリックス

価格マトリックスでは、顧客、発注先、品目などに関する、価格、値引、販促、または輸送レートを指定できます。

次の価格マトリックスを使用できます。

- 価格マトリックス
- 値引マトリックス
- 販促マトリックス
- 輸送レートマトリックス

価格マトリックス

次のセッションでは、マトリックス属性値のメンテナンスや、販売価格、購買価格、または振替価格へのリンクのメンテナンスができます。

- 販売価格マトリックス (tdpcg0130m010)
- 購買価格マトリックス (tdpcg0130m020)
- 振替価格マトリックス (tdpcg0130m030)

値引マトリックス

次のセッションでは、マトリックス属性値のメンテナンスや、販売または購買値引へのリンクのメンテナンスができます。

- 販売ライン値引マトリックス (tdpcg0130m110)
- 販売値引合計マトリックス (tdpcg0130m120)
- 購買ライン値引マトリックス (tdpcg0130m130)
- 購買値引合計マトリックス (tdpcg0130m140)

販促マトリックス

次のセッションでは、マトリックス属性値のメンテナンスや、販売オーダーおよび販売オーダーラインの販促値引へのリンクのメンテナンスができます。

- ライン販促マトリックス (tdpcg0130m210)
- オーダー販促マトリックス (tdpcg0130m220)

輸送レートマトリックス

次のセッションでは、マトリックス属性値のメンテナンスや、運送業者レートおよびクライアントレート合意へのリンクのメンテナンスができます。

- クライアント輸送レートマトリックス (tdpcg0130m310)
- 運送業者輸送レートマトリックス (tdpcg0130m320)

価格設定マトリックスの要素

各価格設定マトリックスには次の要素が含まれます。

- **マトリックスタイプ**
マトリックスタイプは、マトリックス定義のタイプおよび価格マトリックスのタイプを定義するために使用します。マトリックスタイプは、一連のマトリックス属性にリンクします。価格マトリックスの各タイプには、独自のマトリックス属性があります。
- **マトリックス定義**
マトリックス定義には、マトリックス属性とマトリックスタイプのグループが含まれています。
- **マトリックス属性**
マトリックス属性は、価格、値引、販促、または輸送レートを設定する要素です。マトリックス属性は次のセッションから得られるテーブルフィールドです。
 - 取引先 (tccom4500m000)
 - 販売オーダー (tdsls4100m000)
 - 購買オーダー (tdpur4100m000)
 - 品目 (tcibd0501m000)
- **マトリックス優先順位**
マトリックス優先順位は、マトリックス定義の検索順序を指定するために使用します。マトリックス定義にマトリックス優先順位がない場合、定義を使用する価格設定マトリックスは検索されません。
- **価格設定情報**
価格帳、値引スケジュール、販促、輸送レート帳簿などの価格設定情報は、一連のマトリックス属性および値に対して指定する必要があります。

価格設定要素は次のセッションで指定できます。

価格設定要素	セッション
マトリックスタイプ、マトリックス定義、マトリックス属性、マトリックス優先順位	マトリックス定義 (tdpcg0610m000)
価格帳	価格帳 (tdpcg0611m000)
値引スケジュール	値引スケジュール (tdpcg0612m000)
販促	販促 (tdpcg0140m000)
輸送レート帳簿	輸送レート帳 (tdpcg0616m000)

価格設定マトリックスの設定

- 価格マトリックスを設定するには、価格マトリックスの設定 (ページ 11)を参照してください。
- 値引マトリックスを設定するには、値引マトリックスの設定 (ページ 17)を参照してください。

- 販促マトリックスを設定するには、販促マトリックスの設定 (ページ 29)を参照してください。
- 輸送レートマトリックスを設定するには、輸送レートマトリックスの設定 (ページ 35)を参照してください。

価格情報取得プロセスの概要

価格、値引、および販促の取得と計算は、オーダまたは契約が保存されるときに一度に実行されます。輸送費は、積荷構築が実行される時か、ユーザが販売オーダ、購買オーダ、輸送オーダ、または出荷から輸送費計算処理を開始するときに計算されます。価格情報の取得時には、一般検索ロジックを適用できます。

価格設定情報を取得するための一般的な検索ロジック

有効な価格設定情報の検索対象は、価格設定で定義されている価格マトリックスだけではありません。ルールでは、特別契約と通常契約はマトリックスよりも優先されます。また、購買価格を保存する発注先価格帳は価格マトリックスより優先することができます。これは、価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションの [高優先順位] チェックボックスの値によって決まります。

価格設定情報を取得するときの検索順序は、次のようになります。

1. 有効な特別契約
2. 有効な通常契約
3. 価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションの [高優先順位] チェックボックスがオンになっている組合せの発注先価格帳。この検索ステップは、販売価格/値引ではなく、購買価格と値引の取得にのみ適用されます。
4. マトリックス優先順位 (tdpcg0120m000) セッションでマトリックス優先順位が指定される有効なマトリックス。マトリックス定義にマトリックス優先順位がない場合、定義を使用する価格マトリックスは検索されません。
5. デフォルト販売価格帳 (販売価格と値引の場合)。価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションで [高優先順位] チェックボックスがオフになっている組合せについての発注先価格帳 (購買価格と値引の場合)。
6. 品目販売データまたは品目購買データ

注意

いずれかのレベルで価格が見つかり、それよりも低いレベルでの検索処理は停止されます。

外注購買価格を取得するには、作業外注、品目外注、またはサービス外注の固有のすべてのレベルの価格設定データを指定しリンクできます。

価格設定情報の取得

- 価格の取得の詳細は、価格の取得 (ページ 15)
- 値引の取得の詳細は、値引価格の取得 (ページ 25)を参照してください。
- 販促の取得の詳細は、販促情報の取得 (ページ 32)を参照してください。
- 輸送レートの取得の詳細は、輸送レートの取得 (ページ 40)を参照してください。

価格マトリックスの設定

価格マトリックスは、価格設定で、価格と値引を定義および取得する際に柔軟な基準として使用できる価格構造です。

価格マトリックスには次の要素が含まれます。

- マトリックス定義
- マトリックス属性のセット
- 価格帳

たとえば、販売オーダのプロパティが販売価格マトリックスのプロパティと一致する場合、販売価格マトリックスにリンクされている価格帳から取得された価格が販売オーダに適用されます。

価格マトリックスを設定するには：

ステップ 1: 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000)

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションで次のフィールドを定義します。

[一般] タブ	[販売] タブ	[購買] タブ	[転送] タブ
[マトリックス定義番号グループ]	[販売価格の属性セット]	[購買価格の属性セット]	[振替価格の属性セット]
[価格帳番号グループ]	[価格管理]	[価格管理]	[派生元品目を使用]
-	[デフォルト販売価格帳]	[発注先価格帳]	-
-	[デフォルトサービス価格帳]	[購買価格日付タイプ]	-
-	[販売価格日付タイプ]	[価格および値引の再計算]	-
-	[価格および値引の再計算]	[派生元品目の使用]	-
-	[派生元品目を使用]	-	-

ステップ 2: マトリックス定義 (tdpcg0610m000)

マトリックス定義 (tdpcg0610m000) セッションの設定は次のとおりです。

- 次のマトリックスタイプのマトリックス定義を定義します。
 - [販売価格]
販売価格のマトリックス属性を定義します。
 - [購買価格]
購買価格のマトリックス属性を定義します。
 - [振替価格]
振替価格のマトリックス属性を定義します。
- 価格帳の設定対象の、マトリックス属性となる要素を定義します。
- マトリックス定義のマトリックス優先順位を定義します。これは、価格を検索するための検索優先順位として使用されます。

ステップ 3: 価格帳 (tdpcg0611m000)

価格帳 (tdpcg0611m000) セッションの価格帳を定義します。価格帳で、品目の価格をリンクし、境界タイプと境界値を使用して価格の範囲を定義します。また、値引スケジュールを価格帳にリンクできます。

詳細は、次の情報を参照してください: 価格マトリックスの設定 (ページ 13)

ステップ 4: 価格マトリックス

次のセッションで、販売、購買、および転送価格マトリックスを定義します。

- 販売価格マトリックス (tdpcg0130m010)
- 購買価格マトリックス (tdpcg0130m020)
- 振替価格マトリックス (tdpcg0130m030)

次のセッションでは、マトリックス定義を価格帳にリンクし、マトリックス属性の値を指定する必要があります。この結果、マトリックス属性が価格帳にリンクされます。

例

マトリックスタイプが [販売価格] の場合、マトリックス定義 MD1 を指定します。販売先、請求先、オーダー発生元、受渡条件、通貨、品目などの属性をマトリックス定義に追加します。

次の特徴を持つ製造品目のグループに、価格帳 SLS1 を指定します。

- USD で販売
- 最小の境界数量が 2,500 個
- 有効期間が 9 月 1 日から 12 月 1 日
- 1 個あたり 25 ドル
- 追加の値引スケジュール

[販売価格] マトリックスを指定し、マトリックス定義 MD1 と価格帳 SLS1 を選択します。マトリックス属性の値を次のように入力します。

- 販売先: Tradex
- 請求先: Tradex
- オーダー発生元: 販売
- 受渡条件: CoD (代金引換)
- 通貨: USD
- 品目: ラップトップコンピュータ A1

価格マトリックスの設定

価格帳は、品目に関する基準価格、値引、その他の情報を保存するために使用します。

価格帳には、次の要素が含まれています。

- 価格帳ヘッダ。価格長のコード、タイプ、用途が含まれます。
- 1 行または複数行の価格長ライン。品目が含まれます。

価格帳を設定するには:

ステップ 1: 価格帳番号グループの定義

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [価格帳番号グループ] フィールドで、価格帳番号グループを定義します。

ステップ 2: 価格帳の定義

価格帳 (tdpcg0111m000) セッションで拡張ヘッダを定義します。価格帳は、オーダー、契約、または見積依頼の価格と値引を保存するために使用されます。

ステップ 3: 価格帳ラインの定義

価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションで、品目とそれらの価格情報を指定します。

価格帳 (tdpcg0611m000) セッションを使用して、価格帳と価格帳ラインを指定することもできます。

ステップ 4: デフォルト価格帳コードの定義

必要に応じて、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [デフォルト販売価格帳]、[デフォルトサービス価格帳]、[発注先価格帳] フィールドでデフォルト価格帳を定義します。

デフォルト価格帳を常に最新にしておくには、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの次のチェックボックスをオンにします。

- [発注先価格帳の更新]
- [デフォルト価格帳を更新]

注意

- 価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションで値引スケジュールを価格帳ラインにリンクする場合、品目の追加の値引は価格帳ラインの値引スケジュールから適用されます。
- マトリックス構造が存在する場合、価格帳は販売価格マトリックス (tdpcg0130m010)、購買価格マトリックス (tdpcg0130m020)、または振替価格マトリックス (tdpcg0130m030) セッションで指定されます。
- 関係会社間取引合意 (tcitr1600m000) セッションの [外注デポ修理] シナリオの価格発生元が [商業価格] に設定されている場合は、内部取引先用の修理価格帳に内部固定修理価格を保存できます。価格帳から内部修理価格を取得するには、[修理価格帳] を振替価格マトリックス (tdpcg0130m030) セッションの振替価格マトリックスにリンクする必要があります。

発注先価格帳の設定

発注先価格帳により、購買元取引先、出荷元取引先、および品目の組合せについての価格をすぐに取り得および管理できます。したがって、価格マトリックスを設定する必要はありません。

発注先価格帳を設定するには:

ステップ 1:

価格帳 (tdpcg0111m000) セッションで (発注先) 価格帳ヘッダを指定します。

ステップ 2:

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [発注先価格帳] フィールドで、価格帳 (tdpcg0111m000) セッションの価格帳を選択します。

ステップ 3:

価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションで、[品目]、[購買元取引先]、および [出荷元取引先] の各フィールドを指定します。オプションで、[高優先順位] チェックボックスをオンにします。

注意

- 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションで [発注先価格帳] フィールドを指定した場合、[購買元取引先] フィールドおよび [出荷元取引先] フィールドの定義と、[高優先順位] チェックボックスをオンにすることのみ行うことができます。
- 価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションの [購買元取引先] フィールドおよび [出荷元取引先] フィールドを定義することは任意です。ただし、これは発注先価格帳の検索順序に影響します。詳細は、次の情報を参照してください: 価格情報取得プロセスの概要 (ページ 10)
- 価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションの [高優先順位] チェックボックスをオンにすると購買元取引先/出荷元取引先/品目の組合せの価格は、通常のマトリックス優先順位構造で保存された価格よりも優先されます。

価格の取得

LN では、価格を取得するために優先順位に基づいた検索メカニズムが使用されます。

ステップ 1: 契約からの価格情報の取得

価格の検索では、まず有効な特別契約が存在するかどうかチェックされてから、通常契約が存在するかどうかチェックされます。

指定できる内容は次のとおりです。

- 販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションまたは販売契約価格 (tdsls3103m000) セッションの販売契約価格。
- 購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションの購買契約価格

ステップ 2: 価格帳からの価格情報の取得

特別契約や通常契約で価格が見つからない場合、価格帳から価格情報が取得されます。

次のように特定の検索ロジックが使用されます。

1. 高優先順位の発注先価格帳
価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [発注先価格帳] フィールドで定義されている発注先価格帳の中で、価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションの [高優先順位] チェックボックスがオンの組合せが最初に検索されます。この検索ステップは、購買価格の取得時にのみ適用され、販売価格には適用されません。
2. 価格マトリックスにリンクされている価格帳
次に、有効な価格マトリックスにリンクされている価格帳が検索されます。価格帳は マトリックス優先順位 が定義されている価格マトリックスから選択されます。関連するオーダの優先順位に一致するマトリックス定義およびマトリックス属性の価格マトリックスが検索されます。すべてのマトリックス属性がオーダのプロパティと一致する必要があります。検出時には、マトリックス定義とマトリックス属性が保存されている価格マトリックスの価格帳が、オーダの価格の計算に使用されます。有効な価格マトリックスが複数存在する場合、価格の取得は、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [価格管理] / [価格管理] パラメータによって制御されます。

サービス品目には、次の条件が適用されます。

- 通常価格設定
一般サービスパラメータ (tsmdm0100m000) セッションの [販売価格検索方法] フィールドによって、検索対象の発生元価格が決まります。たとえば、このパラメータが [価格帳 (サービス)] の場合、販売価格マトリックス (tdpcg0130m010) セッションで [価格発生元] が [サービス] である価格マトリックスにリンクされた価格帳のみが検索されます。
- 内部価格
関係会社間取引合意 (tcitr1600m000) セッションで [外注デポ修理] シナリオの価格発生元を [商業価格] に設定した場合、内部修理価格は振替価格マトリックス (tdpcg0130m030) セッションの振替価格マトリックスにリンクされた修理価格帳から取得されます。
- 関係会社間取引合意 (tcitr1600m000) セッションで [外注デポ修理] シナリオの価格発生元を [時間と資材] に設定した場合、サブシナリオを関係会社間取引合意 - 振替価格設定ルール (tcitr1605m000) セッションで指定する必要があります。サブシナリオのタイプが [内部資材納入]、または [労務] であり、[価格発生元] が [商業価格] に設定されている場合、内部振替価格は振替価格マトリックス (tdpcg0130m030) セッションの振替価格マトリックスにリンクされた価格帳から取得されます。

3. デフォルト価格帳

最後に、次の項目が検索されます。

- (販売価格の場合) 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [デフォルト販売価格帳] フィールドに入力されているデフォルト販売価格帳
- (販売価格の場合) 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [デフォルトサービス価格帳] フィールドに入力されているデフォルト販売価格帳
- (購買価格の場合) 価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションの [高優先順位] チェックボックスがオフになっている組合せについての発注先価格帳

ステップ 3: 品目ファイルからの価格情報の取得

価格帳で価格が見つからない場合、品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッション、品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッション、または品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションで価格が検索されます。

注意

- 特定のエンティティまたは企業単位間の内部取引処理の価格取得は、関係会社間取引合意 (tcitr1600m000) セッションに指定された価格設定データに基づいています。
- 有効化構成パラメータ (tcuef0100s000) セッションの [更新価格を使用] チェックボックスがオンで、オーダーラインに有効化コード番号が含まれる場合、更新価格が価格に追加されます。
- 常に価格を指定または更新できます。

値引マトリックスの設定

値引マトリックスは、価格設定で、値引を定義および取得する際に柔軟な基準として使用できる値引構造です。

値引マトリックスには次の要素が含まれます。

- マトリックス定義
- マトリックス属性のセット
- 次のいずれかの値引情報:
 - 値引額
 - 値引率
 - 値引スケジュール

たとえば、販売オーダーのプロパティが値引マトリックスのプロパティと一致する場合、値引マトリックス、または値引マトリックスにリンクされている値引スケジュールから得られた値引額/値引率が販売オーダーに適用されます。

組織で使用する値引レベルの数を指定できるほか、各レベルの使用方法を定義できます。詳細は、次の情報を参照してください: 複数の値引レベル (ページ 24)

値引マトリックスを設定するには：

ステップ 1: 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000)

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションで次のフィールドを定義します。

[一般] タブ	[販売] タブ	[購買] タブ
[複数值引レベルの導入]	[販売ライン値引の属性セット]	[購買ライン値引の属性セット]
[値引レベル数]	[販売値引合計の属性セット]	[購買値引合計の属性セット]
[マトリックス定義番号グループ] [値引管理レベル 1]		[値引管理レベル 1]
[値引スケジュール番号グループ] [値引管理レベル 2]		[値引管理レベル 2]
-	[値引管理レベル 3]	[値引管理レベル 3]
-	[値引管理レベル 4]	[値引管理レベル 4]
-	[値引管理レベル 5]	[値引管理レベル 5]
-	[販売価格日付タイプ]	[購買価格日付タイプ]
-	[価格および値引の再計算]	[価格および値引の再計算]
-	[値引合計の追加/上書]	[値引合計の追加/上書]
-	[派生元品目を使用]	[派生元品目の使用]

ステップ 2: マトリックス定義 (tdpcg0610m000)

マトリックス定義 (tdpcg0610m000) セッションの設定は次のとおりです。

- 次のマトリックスタイプのマトリックス定義を定義します。
 - [販売ライン値引]
販売オーダーライン値引にマトリックス属性を定義します。
 - [販売値引合計]
販売オーダー値引合計にマトリックス属性を定義します。
 - [購買ライン値引]
購買オーダーライン値引にマトリックス属性を定義します。
 - [購買値引合計]
購買オーダー値引合計にマトリックス属性を定義します。
- 値引額、値引率、または値引スケジュールを設定する要素、つまりマトリックス属性を定義します。
- マトリックス定義のマトリックス優先順位を定義します。これは、値引を検索するための検索優先順位として使用されます。

ステップ 3: 値引スケジュール (tdpcg0612m000)

値引スケジュール (tdpcg0612m000) セッションで値引スケジュールを定義します。値引スケジュールでは、値引額または値引率を指定し、値引を適用するオーダ数量またはオーダ金額を決定します。スケジュールタイプに、境界タイプを指定することもできます。

値引スケジュールはさまざまな発生元に割り当てることができますが、値引マトリックスで使用する場合は、値引スケジュールを標準の販売オーダまたは購買オーダに割り当てる必要があります。したがって、[購買契約に使用]、[販売契約に使用]、[見積依頼に使用]、および [販促に使用] の各チェックボックスは、値引スケジュールに関してオフにする必要があります。

詳細は、次の情報を参照してください: 値引スケジュールの設定 (ページ 19)

ステップ 4: 値引マトリックス

次のセッションで値引マトリックスを指定します。

- 販売ライン値引マトリックス (tdpcg0130m110)
- 販売値引合計マトリックス (tdpcg0130m120)
- 購買ライン値引マトリックス (tdpcg0130m130)
- 購買値引合計マトリックス (tdpcg0130m140)

次のセッションでは、マトリックス定義を値引額、値引率、または値引スケジュールにリンクし、マトリックス属性の値を指定する必要があります。この結果、マトリックス属性は値引額、値引率、または値引スケジュールにリンクされます。

例

マトリックスタイプが [販売ライン値引] の場合、マトリックス定義 MD1 を指定します。受渡条件、通貨、および品目の属性をマトリックス定義に追加します。

次の特徴を持つ品目に、値引スケジュール SLS1 を指定します。

- 通貨 USD
- 最小の境界数量が 10 個
- 有効期間が 9 月 1 日から 12 月 1 日
- 各値引が 50 ドル

[販売ライン値引] のマトリックスタイプに値引マトリックスを定義し、マトリックス定義 MD1 と値引スケジュール SLS1 を選択します。マトリックス属性の値を次のように入力します。

- 受渡条件: CoD (代金引換)
- 通貨: USD
- 品目: ラップトップコンピュータ A1

値引スケジュールの設定

値引スケジュールは、品目の値引計算に使用されます。値引スケジュールで指定される値引は割合または金額で表され、最大または最小の数量または値が設定されています。

値引スケジュールには、次の要素が含まれています。

- 値引スケジュールのコード、タイプ、および使用法を含む値引スケジュールヘッダ
- 値引を含む 1 つ以上の値引スケジュールライン

値引スケジュールを設定するには:

ステップ 1: 値引スケジュール番号グループの指定

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [値引スケジュール番号グループ] フィールドで、値引スケジュール番号グループを指定します。

ステップ 2: 値引スケジュールヘッダの指定

値引スケジュール (tdpcg0112m000) セッションで値引スケジュールヘッダを指定します。値引スケジュールは、オーダー、契約、見積依頼、または販促の値引を保存するために使用されます。

値引スケジュール (tdpcg0112m000) セッションでは、[値引スケジュールタイプ] フィールドも次のいずれかに指定する必要があります。

- [数量境界]
会社の値引合意がオーダー数量に基づいている場合
- [価格境界]
会社の値引合意がオーダー価格に基づいている場合

ステップ 3: 値引スケジュールラインの指定

値引スケジュール (tdpcg0121m000) セッションで値引を指定します。

次の境界フィールドを指定する必要があります。

- [境界タイプ]
品目の距離、金額、オーダー数量など、エンティティの範囲の境界をどのように定義するかを指定します。境界は、範囲の最初の数または最後の数です。
境界タイプは次のいずれかです。
 - [最小]
境界は範囲の最小の数です。
 - [最大]
境界は範囲の最大の数値です。
- [境界値 (数量/価格)]
この値引スケジュールの最小または最大の数量または価格。最小数量か最大数量であるかは、境界タイプによって決まります。

例

[数量境界] スケジュールタイプ

[最小] 境界タイプ

オーダー数量 値引

10	3%
50	5%

この場合、境界は 10 と 50 です。オーダー数量が 10 以上 50 未満の場合、値引は 3% です。オーダー数量が 50 以上の場合、値引は 5% です。

[価格境界] スケジュールタイプ

[最大] 境界タイプ

オーダー金額	値引
100	0%
1000	5%

この場合、境界は 100 および 1000 です。総額が 100 以下の場合、値引は 0% です。総額が 100 より大きく、1000 以下の場合、値引は 5% です。

注意

- 値引スケジュールヘッダおよび値引スケジュールラインを指定するには、値引スケジュール (tdpcg0612m000) セッションを使用することもできます。
- 価格帳ライン (tdpcg0131m000) セッションで値引スケジュールを価格帳にリンクするとき、品目の追加の値引は価格帳の値引スケジュールから適用されます。
- マトリックス構造が存在する場合、値引スケジュールは販売ライン値引マトリックス (tdpcg0130m110)、販売値引合計マトリックス (tdpcg0130m120)、購買ライン値引マトリックス (tdpcg0130m130)、または購買値引合計マトリックス (tdpcg0130m140) セッションで指定されます。
- 1 つまたは複数の値引スケジュールを契約にリンクできます。詳細は、次の情報を参照してください: 契約時の値引スケジュール (ページ 21)

契約時の値引スケジュール

次のセッションの [値引スケジュール] フィールドで、1 つ以上の値引スケジュールをリンクできます。

- 購買契約価格 (tdpur3103m000)
- 販売契約ライン (tdsls3501m000)
- 販売契約価格 (tdsls3103m000)

値引スケジュールの契約へのリンク

- 購買契約価格 (tdpur3103m000) と販売契約ライン (tdsls3501m000)
購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションまたは販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで [値引スケジュール] を指定するには、ライン値引スケジュール (tdpcg0521m100) セッションにズームします。1つの値引スケジュールをリンクするには、ライン値引スケジュール (tdpcg0521m100) セッションで1つの値引スケジュールだけを指定する必要があります。値引スケジュールラインのオーダー数量と有効期間、および価格改訂または販売契約ラインの有効期間に基づいて、値引スケジュールから1つのラインが選択されます。
- 販売契約価格 (tdsls3103m000)
このセッションで [値引スケジュール] を指定するには、値引スケジュール (tdpcg0112m000) セッションにズームします。値引スケジュールラインのオーダー数量と有効期間および価格改訂の有効期間に基づいて、値引スケジュールから1つのラインが選択されます。

例

- 値引スケジュール: [購買契約に使用]
- [値引スケジュールタイプ]: 数量境界
- 契約ラインの価格改訂の有効期間: 01/04 - 30/04

境界タイプ	境界 (個)	発効日	有効期限	率	金額 (ユーロ)	方法	値引コード
最大	100	01/05	-	-	10	正味	RHT
最大	200	01/01	-	1	-	総額	-
最大	300	01/01	04/06	4	-	正味	MAQ
最大	300	05/04	-	5	-	総額	APC

オーダー数量が 100 個の場合、値引は総額の 1% です。価格が 50 ユーロの場合、正味額は 49,500 ユーロです。

複数の値引スケジュールの契約へのリンク

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [値引レベル数] フィールドに指定された値に応じて、最大 5 つの値引スケジュールを 1 つの価格改訂にリンクできます。

複数の値引スケジュールを価格改訂にリンクする場合、値引スケジュールラインのオーダー数量と有効期間、および価格改訂または契約ラインの有効期間に基づいて、リンクされた各値引スケジュールから 1 つの値引スケジュールラインが選択されます。

- 購買契約価格 (tdpur3103m000) と販売契約ライン (tdsls3501m000)
複数の値引スケジュールを契約にリンクするには、購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションまたは販売契約ライン (tdsls3501m000) セッション [値引スケジュール] フィールドからライン値引スケジュール (tdpcg0521m100) セッションにズームしたときに、ライ

ン値引スケジュール (tdpcg0521m100) セッションで2つ以上の値引スケジュールを指定します。

- 販売契約価格 (tdsls3103m000)
価格と値引 (tdpcg1600m000) セッションでは、より多くのレベルの値引スケジュールを販売契約価格改訂にリンクできます。このセッションを開始するには、販売契約価格 (tdsls3103m000) セッションの適切なメニュー上で、[価格と値引] をクリックします。「値引」タブで、価格改訂の2つ以上の値引スケジュールを指定します。

例

有効期間が 01/05 ~ 01/06 の購買契約価格改訂に、2つの値引スケジュールがリンクされています。

- 値引スケジュール: PUR000002
- [値引スケジュールタイプ]: 数量境界

境界タイプ	境界 (個)	発効日	有効期限	率	金額 (ユーロ)	方法	値引コード
上限	100	01/03/00	-	4	-	総額	MHT
上限	200	01/01/00	04/06	-	10	正味	-
上限	300	01/01/00	-	4	-	総額	LAQ
上限	300	05/04/00	-	5	-	総額	ZPC

- 値引スケジュールコード: PUR000003
- [値引スケジュールタイプ]: 価格境界

境界タイプ	境界 (Euro)	発効日	有効期限	率	金額 (ユーロ)	方法	値引コード
最小	10000	01/05/00	-	-1	-	総額	LHT
最小	20000	01/01/00	04/06	-	-10	正味	-
最小	30000	01/01/00	-	-1	-	総額	NAQ
最小	40000	05/04/00	-	-5	-	正味	BPC

オーダー数量が 100 個で価格が 50 ユーロの場合、正味額は次のようにして取得されます。

- PUR000002 から適用される値引は総額の 4%
- 正味額は、現在 48,000 ユーロ
- PUR000003 による値引 (付加費用を考慮) は -5

- 合計正味額は 48,500 ユーロ

複数の値引レベル

組織の多くは、一度に複数の値引を提示したり受けたりします。これは、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [複数值引レベルの導入] チェックボックスがオンの場合にサポートされる共通のビジネスプラクティスです。値引レベルを使用すれば、販売オーダーとラインや、購買オーダーとラインに値引を割り当てるための基準を柔軟に設定できます。

最高で 5 つのレベルの値引を定義できます。販売オーダーや購買オーダーに割り当てることができる値引の数は、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [値引レベル数] フィールドに入力した値引レベルの数によって決まります。このセッションでは、組織で使用する値引レベルの数を指定できるほか、各レベルの使用方法を定義できます。たとえば、レベル 1 では最初に見つかった値引を使用し、以降のレベルは値引を累計して使用するよう定義できます。

レベルごとに、オーダーライン値引とオーダー値引を定義できます。マトリックス定義と値引マトリックスは、ライン値引と値引合計の両方について定義する必要があります。詳細は、次の情報を参照してください: 値引マトリックスの設定 (ページ 17)

値引は値引率または値引額で表します。金額が単位別に計算されて、総額から差し引かれます。値引率は総額に対してまたは前のレベルの残りの正味額に対して計算されます。

例

椅子の発注先が、次のように 3 つのレベルの値引を定義しているとします。

- レベル 1: 特定地域のすべての顧客に対する値引
- レベル 2: オーダー数量に基づく値引
- レベル 3: 特定の品目に対する値引

発注先は、ニューヨークの顧客が発注した場合にすべて 100 ドルの値引を行います (レベル 1 値引)。さらに、椅子を各 100 ドルで 501 個以上購入する顧客には 5% の値引を行います (レベル 2 の値引)。

椅子を 600 個購入するニューヨークの顧客に対する請求の計算は、次のようになります。

レベル	値引 %	金額	方法	値引	正味
1	-	1	総額	\$ 100 (1 × 100)	\$ 59,900
2	5 %	-	正味	\$ 2,995 (5% × 59,900)	\$ 56,905

設定/適合

オーダーラインが合計オーダー値引に適合する場合、値引合計は各オーダーラインに分配されます。

オーダーラインに値引が設定される場合、そのオーダーラインの数量と値が合計オーダー値引の計算の対象になります。

合計オーダー値引は、多くの場合、他の値引に対して付加的に使用されます。

デフォルト値

価格マトリックスセッションまたは値引マトリックスセッションのいずれかで [適合] チェックボックスと [決定] チェックボックスをオンにしている場合は、デフォルトで次のセッションでも同じチェックボックスがオンになります。

- 見積依頼回答 (tdpur1506m000)
- 購買契約価格 (tdpur3103m000)
- 購買オーダーライン (tdpur4101m000)
- 販売見積ライン (tdsls1501m000)
- 販売契約ライン (tdsls3501m000)
- 販売オーダーライン (tdsls4101m000)
- 価格と値引 (tdpcg1600m000)

上記セッションのデフォルト設定は、マニュアルで変更できます。

例

顧客の合計オーダー額が 500 ドルを超える場合、10% の値引合計が適用されるとします。

顧客オーダーのオーダー金額は 100 ドル、200 ドル、500 ドルで、すべてのオーダーラインに合計値引額が設定されます。この結果、合計オーダー額は 800 ドルであるため値引はオーダーラインに分配できます。

オーダーラインの金額の 1 つが値引合計に適合する場合、このオーダーラインには 10% の値引が適用されます。10% の値引は、500 ドルと 100 ドルの適合オーダーラインに適用されます。200 ドルの金額は適合していないため、値引合計は適用されません。

別の (大きな) 値引額がすでに適用されているオーダーラインは、合計オーダー値引から除外されます。たとえば、(オーダー数量について) 50 ドルの値引が 125 ドルのオーダーライン金額に適用されるとします。オーダーラインに適用される追加の値引合計は 40 ドルです。合計値引額は 90 ドルになります。合計値引額はオーダー額 125 ドルには大きすぎるため、この値引合計は適用されません。

値引価格の取得

値引を取得する機能は、価格情報の取得に使用する機能と似ています。主な相違点は、次のとおりです。

- 値引は、値引マトリックスと値引スケジュールに保存できます。
- 複数の値引を適用できます。詳細は、次の情報を参照してください: 複数の値引レベル (ページ 24)

契約からの値引情報の取得

値引の検索では、まず有効な特別契約が存在するかどうかチェックされてから、通常契約が存在するかどうかチェックされます。

次の項目を定義できます。

- 販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションまたは販売契約価格 (tdsls3103m000) セッションの販売契約値引
- 購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションの購買契約値引。

必要であれば、1つまたは複数の値引スケジュールを契約にリンクできます。詳細は、次の情報を参照してください: 契約時の値引スケジュール (ページ 21)

注意

契約に有効な値引がない場合、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [契約値引なしの場合、値引適用] チェックボックスの設定に従って検索が停止されるか、継続されます。このチェックボックスがオンの場合、検索は継続されます。

価格帳または値引マトリックスからの値引の取得

特別契約または通常契約で値引が見つからず値引の検索が継続する場合、価格帳にリンクされている値引スケジュールまたは値引マトリックスから値引が取得されます。価格帳にリンクされている値引スケジュールから値引情報が取得されるには、まず正しい価格帳が検出されなければなりません。正しい価格帳の検出のために、価格の取得 (ページ 15) で説明されている取得処理が実行されます。

値引マトリックスからの値引の取得のために、関連オーダのプロパティに一致するマトリックス定義およびマトリックス属性を持つ値引マトリックスが検索されます。すべてのマトリックス属性がオーダのプロパティと一致する必要があります。検出時には、マトリックス定義とマトリックス属性が保存されている値引マトリックスの値引スケジュールが、オーダの値引の計算に使用されます。値引マトリックスの値引情報には、値引額、値引率、または値引スケジュールが含まれます。

値引マトリックスの取得は、関連する値引レベルに関する価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの次の設定によって管理されます。

- [最初の値引]
対象のレベルで最初に見つかった有効な値引が使用され、その他の有効な値引は無視されます。最初の有効な値引は、一番低いマトリックス優先順位番号が付けられているものです。複数の値引に一番低い優先順位番号が付けられている場合、最初の値引となるのは一番新しい発効日のものです。最初の値引が見つかったら、値引の検索は停止します。
- [最大値引]
対象のレベルで検出された最高の値引が使用され、マトリックスの優先順位は無視されません。
- [累計]
すべての有効な値引が取得され、1つの総計の割合として返されます。総計の最大値引率は 100 です。
- [適用なし]
関連する値引レベルの値引は取得されません。

注意

- 値引取得処理は、定義済の値引レベルごとにレベル1から実行されます。まずライン値引が検索されてからオーダ値引が検索されます。有効な値引が見つからない場合、0.00 (ゼロ) の値が入力されます。この値は、ユーザがメンテナンスまたは修正できます。
- 価格マトリックスセッションと値引マトリックスセッションの [決定] および [適用] チェックボックスの値は、値引の計算にも影響します。詳細は、次の情報を参照してください: 設定/適合 (ページ 24)
- 特定のオーダや契約について検索された適用可能な値引スケジュールや価格帳から、オーダや契約の通貨で記録されている値引が取得されます。オーダ通貨に適用できる値引が見つからない場合、自国通貨で記録されている値引が選択されます。
- 値引は常にマニュアルで入力または上書きできます。

販促マトリックスの設定

販促マトリックスは、価格設定で、販促を定義および取得する際に柔軟な基準として使用できる構造です。

販促マトリックスには次の要素が含まれます。

- マトリックス定義
- マトリックス属性のセット
- 販促または販促グループ

たとえば、販売オーダーのプロパティが販促マトリックスのプロパティと一致する場合、販促マトリックスにリンクされている販促が販売オーダーに適用されます。

販促マトリックスを設定するには:

ステップ 1: 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000)

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションで次のフィールドを定義します。

[一般] タブ	[販促] タブ
[マトリックス定義番号グループ]	[ライン販促の属性セット]
[値引スケジュール番号グループ]	[オーダー販促の属性セット]
-	[販促の導入]
-	[販促番号グループ]
-	[ライン販促管理]
-	[オーダー販促管理]
-	[販促日付タイプ]

ステップ 2: マトリックス定義 (tdpcg0610m000)

マトリックス定義 (tdpcg0610m000) セッションの設定は次のとおりです。

1. 次のマトリックスタイプのマトリックス定義を定義します。
 - [ライン販促]
販売オーダーライン販促にマトリックス属性を定義します。ライン販促は販売オーダーラインに対する特典です。オリジナル品目の価格を割合または金額で値引したり、オリジナル品目の購買に対してプレミアムを提供したりします。
 - [オーダー販促]
販売オーダーヘッダ販促にマトリックス属性を定義します。オーダー販促は販売オーダーに対する特典です。合計オーダー価格を割合で値引したり、プレミアムを提供したりします。
2. 販促の設定対象の、マトリックス属性となる要素を定義します。
3. マトリックス定義のマトリックス優先順位を定義します。これは、販促を検索するための検索優先順位として使用されます。

ステップ 3: 値引スケジュール (tdpcg0612m000)

値引スケジュール (tdpcg0612m000) セッションで、販促に割り当てられる値引スケジュールを定義します。つまり、[販促に使用] チェックボックスをオンにします。値引スケジュールでは、値引金額、値引率、またはプレミアム、そして販促が適用されるオーダー数量やオーダー金額などの、販促詳細を指定します。スケジュールタイプに、境界タイプを指定することもできます。

詳細は、次の情報を参照してください: 値引スケジュールの設定 (ページ 19)

ステップ 4: 販促グループ (tdpcg0115m000)

必要な場合、販促グループ (tdpcg0115m000) セッションで販促グループをメンテナンスします。販促グループを利用すると、複数の販促を販促マトリックスにリンクできます。関連するセッションで、適切なメニューから [グループタイプ] を選択し、グループタイプの販促グループをメンテナンスする必要があります。

販促グループの概要については、販促グループ - 概要 (tdpcg0515m000) セッションを参照してください。

ステップ 5: 販促 (tdpcg0140m000)

販促 (tdpcg0140m000) セッションで販促をメンテナンスします。このセッションでは、値引スケジュールを販促にリンクする必要があります。

ステップ 6: 販促マトリックス

次のセッションでオーダーおよびライン販促マトリックスを指定します。

- ライン販促マトリックス (tdpcg0130m210)
- オーダー販促マトリックス (tdpcg0130m220)

次のセッションでは、マトリックス定義を販促または販促グループにリンクし、マトリックス属性の値を入力する必要があります。この結果、マトリックス属性はある販促または販促グループにリンクされます。

デフォルト販促に販促マトリックスを作成する必要はなく、販促 (tdpcg0140m000) セッションの [デフォルト販促] フィールドで定義できます。LN によって、これらの販促が自動的に検索されません。

例

マトリックスタイプが [ライン販促] の場合、マトリックス定義 MD1 を指定します。受渡条件や通貨の属性をマトリックス定義に追加します。

次の特徴を持つ品目に、販促値引スケジュール SLS1 を指定します。

- 通貨 USD
- 最小の境界数量が 10 個
- 有効期間が 9 月 1 日から 12 月 1 日
- プレミアムにキーボード

次の特徴を持つ販促 PRO1 を指定します。

- 販売品目: ラップトップコンピュータ A1
- 販促値引スケジュール SLS1 を販促にリンク

[ライン販促] のマトリックスタイプに販促マトリックスを定義し、マトリックス定義 MD1 と販促 PRO1 を選択します。マトリックス属性の値を次のように入力します。

- 受渡条件: CoD (代金引換)
- 通貨: USD

販促シナリオ

ここで紹介するシナリオは、一般消費者向け商品を一括で取引する業界で利用できる価格設定と販促セッションを示しています。これらにより、さまざまなタイプの販促を設定できます。

ラインレベルの販促

- 値引率によるライン品目販促
- 割引によるライン品目販促
- 品目の購入数または購入金額による同品目の無料提供
- 品目の購入数または購入金額による別品目の無料提供
- 品目の購入数または購入金額による品目グループの無料提供

オーダーレベルの販促

- 合計オーダー額を基準にした値引率によるオーダー販促
- 合計オーダー額を基準にした無料品によるオーダー販促

ラインレベルの販促

- 値引率によるライン品目販促
この販促では、販売オーダーラインごとに値引率が提供されます。値引率は、オーダー数量またはオーダー金額によって決まります。値引率は、オーダー数量やオーダー金額が増えると大きくなります。
この場合、A を特定の数量購入すると、割合で値引されます。
- 割引によるライン品目販促
販売オーダーラインに割引額が提供されます。割引額は、オーダー数量またはオーダー金額によって決まります。値引額は、オーダー数量またはオーダー金額が増えると大きくなります。
この場合、A を特定の数量購入すると、金額で割引されます。
- 品目の購入数または購入金額による同品目の無料提供
販売オーダーに1つ以上の無料品を提供します。無料品の数は、オーダーされた品目数量、または品目金額によって決まります。
この場合、A を特定の数量購入すると、同品目が無料になります。
- 品目の購入数または購入金額による別品目の無料提供
販売オーダーラインごとに、オーダー数量またはオーダー金額に基づいて1つまたは指定された数量の品目 (オーダー品目以外) が無料で提供されます。
この場合、A を特定の数量購入すると、別品目が無料になります。
- 品目の購入数または購入金額による品目グループの無料提供
この販促では、各販売オーダーラインのオーダー数量またはオーダー金額に基づいて、品目のグループが無料で提供されます。
この場合、A を特定の数量購入すると、品目のグループが無料になります。

オーダーレベルの販促

- 合計オーダー額を基準にした値引率によるオーダー販促
合計オーダー額が指定された金額を超えると、合計オーダーについて指定されている値引率が得られます。
たとえば、オーダー額が 1000 ドルを超えると、合計オーダー額が 3% 値引されます。
- 合計オーダー額を基準にした無料品によるオーダー販促
合計オーダー額が指定された金額を超えると、無料品を得られます。
たとえば、オーダー額が 1000 ドルを超えると、無料で 10 品目を受け取ることができます。

販促情報の取得

価格設定では、品目と取引先について販促が定義されています。販促は、販売オーダーや販売オーダーラインで特別値引や無料ギフトを提供するために使用します。

自動的に検索されるデフォルトの販促以外は、販促マトリックスを使用して、販促が販売オーダーの品目および/または取引先に定義されているかどうかを確認されます。

マトリックス優先順位が定義されている販促マトリックスで有効な販促が検索されます。販促マトリックスの取得は、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [ライン販促管理] パラメータおよび [オーダー販促管理] パラメータによって管理されます。

パラメータには次の値を指定できます。

- [初回適合]
最初の有効な販促が適用されます。
- [すべて適合]
すべての有効な販促が適用されます。
- [初回適合 + すべて限定適合]
販促 (tdpcg0140m000) セッションで [限定適用販促] チェックボックスがオンである最初の有効な販促が適用されます。
- [すべて限定適用]
販促 (tdpcg0140m000) セッションで [限定適用販促] チェックボックスがオンであるすべての有効な販促が適用されます。

販促マトリックスからの販促の取得のために、関連の販売オーダーのプロパティに一致するマトリックス定義とマトリックス属性を持つ販促マトリックスが検索されます。すべてのマトリックス属性がオーダーのプロパティと一致する必要があります。検出時には、販促マトリックスにリンクされている販促が販売オーダーに適用されます。

注意

販売オーダーや販売オーダーラインを入力する場合、販売オーダー販促データリンク (tdsls4536m000) セッションで適合販促または適用済販促を表示および選択できます。

輸送レートマトリックスの設定

輸送レートマトリックスは、価格設定で、輸送レートを定義および取得する際に柔軟な基準として使用できる構造です。

輸送レートマトリックスには次の要素が含まれます。

- マトリックス定義
- マトリックス属性のセット
- 輸送レート帳簿

たとえば、販売オーダーのプロパティが輸送レートマトリックスのプロパティと一致する場合、輸送レートマトリックスにリンクされている輸送レート帳簿から取得された輸送レートが販売オーダーに適用されます。

輸送レートマトリックスを設定するには：

ステップ 1: 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000)

価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションで次のフィールドを定義します。

- [マトリックス定義番号グループ]
- [輸送レート帳番号グループ]
- [クライアント輸送レートの属性セット]
- [運送業者輸送レートの属性セット]
- [距離/ゾーン別検索]
- [クライアント輸送レート管理]
- [運送業者輸送レート管理]
- [クライアント輸送レートの日付]
- [運送業者輸送レートのレート日付]

ステップ 2: マトリックス定義 (tdpcg0610m000)

マトリックス定義 (tdpcg0610m000) セッションの設定は次のとおりです。

1. 次のマトリックスタイプのマトリックス定義を定義します。
 - [クライアント輸送レート]
クライアント輸送レートのマトリックス属性を定義するにはこのマトリックスタイプを使用します。
 - [運送業者輸送レート]
クライアント輸送レートのマトリックス属性を定義するにはこのマトリックスタイプを使用します。
2. 輸送尾レート帳の設定対象の、マトリックス属性となる要素を定義します。
3. マトリックス定義のマトリックス優先順位を定義します。これは、輸送レートを検索するための検索優先順位として使用されます。

ステップ 3: 輸送レート帳 (tdpcg0616m000)

輸送レート帳 (tdpcg0616m000) セッションで輸送レート帳を定義します。輸送レート帳では、距離またはゾーン、およびそれらに関する輸送レートを定義します。境界タイプも指定できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 輸送レート帳の定義 (ページ 37)

ステップ 4: 輸送レートマトリックス

次のセッションで輸送レートマトリックスを指定します。

- クライアント輸送レートマトリックス (tdpcg0130m310)
- 運送業者輸送レートマトリックス (tdpcg0130m320)

次のセッションでは、輸送レート帳をマトリックス定義にリンクし、マトリックス属性の値を入力する必要があります。この結果、輸送レート帳簿がマトリックス属性にリンクされます。

例

マトリックスタイプが[クライアント輸送レート]の場合、マトリックス定義 MD1 を指定します。品目および出荷元取引先の属性をマトリックス定義に追加します。

次の特徴を持つ品目に、輸送レート帳簿 FRB1 を指定します。

- 評価方法: [距離]
- [最大] 境界タイプ
- 重量 < 100:
 - 重量別金額 15 ドル
- 距離 < 500:
 - 距離別金額 25 ドル
- 有効期間が 9 月 1 日から 12 月 1 日

[クライアント輸送レート]のマトリックスタイプに輸送レートマトリックスを定義し、マトリックス定義 MD1 と輸送レート帳簿 FRB1 を選択します。マトリックス属性の値を次のように入力します。

- 品目: ラップトップコンピュータ A1
- 出荷元取引先: Tradex

輸送レート帳の定義

輸送レート帳簿とは、輸送レートのリストです。輸送レートには、距離またはゾーンあたりの金額と、いくつかのその他の属性、たとえば、重量、サービスレベル、運送業者などが含まれています。

輸送レートは、次のいずれかのタイプになります。

- クライアントレート
- 運送業者レート

輸送レート帳簿には次の要素が含まれます。

- 輸送レート帳ヘッダ。レート設定方法、距離単位、および無料距離が記載されています。
- 1つ以上の輸送レート帳ライン。運送業者およびサービスレベルなどの属性の組合せでの輸送レートが記載されています。

輸送レート帳で指定される輸送レートは、最大または最小の重量、距離、あるいは追加レートによって決まります。

輸送レート帳簿を設定するには:

ステップ 1: 輸送レート帳簿番号グループ

輸送レート帳簿番号グループは、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [輸送レート帳簿番号グループ] フィールドで指定します。

ステップ 2: 輸送レート帳簿ヘッダ

輸送レート帳 (tdpcg0116m000) セッションで輸送レート帳ヘッダを指定します。

輸送レート帳 (tdpcg0116m000) セッションで [レート設定方法] フィールドも指定し、輸送レートを分類します。このフィールドは、[距離] または [ゾーン] に設定できます。

ステップ 3: 輸送レート帳簿ライン

輸送レート帳 (tdpcg0150m000) セッションで輸送レート帳ラインを指定し、距離またはゾーン、および距離またはゾーンに関する輸送レートを含めます。

次の境界フィールドを指定する必要があります。

- [境界タイプ]
距離、重量、または追加レート単位などのエンティティの範囲間を、どのように分割するかを指定します。
境界タイプは次のいずれかです。
 - [最小]
境界は範囲の最小の数です。
 - [最大]
境界は範囲の最大の数値です。
- 輸送レート
境界の範囲について、距離、重量、および追加レート単位別の金額を指定します。最小額または固定額も指定できます。

輸送レート帳ヘッダおよび輸送レート帳ラインを指定するには、輸送レート帳 (tdpcg0616m000) セッションを使用することもできます。

例

輸送レート帳データ

[運送業者/LSP] Speedex, Inc.
[重量] 100 kg
[サービスレベル] 迅速な納入
[レート設定方法] 距離
[境界タイプ] [最小]

距離	距離あたりの金額	重量あたりの金額	最小金額
0	10	15	2,000
500	25	25	3,000

次に示されている距離および重量の場合、上記のレートによる輸送費は次のようになります。

インスタンス	距離	重量	輸送費
A	100	200	$100 \times 10 + 200 \times 15 = 4,000$
B	1000	50	$1000 \times 25 = 25,000$
C	30	100	2000

Bの場合、重量は 100 kg 未満であるため重量料金はありません。Cの場合、計算された金額 ($30 \times 10 + 100 \times 15 = 1800$) は最小金額に満たないため、最小金額が請求されます。

ゾーン

輸送レートは、距離とゾーン、さらに重量、サービスレベル、運送業者といったいくつかのオプションの要素に基づきます。距離は、価格設定の輸送レート帳 (tdpcg0150m000) セッションで入力された距離、および輸送で定義されたゾーンにより定義されます。

ゾーン

ゾーンには、次の要素が含まれています。

- **ゾーン ID**
ゾーンのコードおよび記述
- **ゾーンタイプ**
ゾーンのタイプ。[郵便番号]、[都市] または [距離] に設定できます。
- **運送業者**
運送業者は固有のゾーンシステムを使用し、そのゾーンシステムに基づいたレートを設定できます。運送業者を指定して、その運送業者に限りゾーンを使用することを示すことができます。
- **ゾーン情報**
ゾーンを構成する発生元国、目的国、郵便番号範囲、都市、距離といった明細が含まれます。[ゾーン]の[ゾーンタイプ]によって、ゾーンを構成するゾーン情報のタイプが決まります。
 - 郵便番号別ゾーン
 - 都市別ゾーン
 - 距離別ゾーン

ゾーンの定義方法

1. ゾーンタイプおよび運送業者/LSP 別ゾーン (fmfrcl1110m000) セッションで、次のデータを定義します。
 - a. [ゾーンタイプ]。[ゾーンタイプ] を選択するには、ツールバーの新規グループボタンをクリックします。
 - b. [運送業者/LSP] (必要な場合)
 - c. [ゾーン] のコードおよび記述。コードおよび記述を追加するには、ツールバーの新規レコードボタンをクリックします。
2. 郵便番号別ゾーン (fmfrcl1120m000) セッション、都市別ゾーン (fmfrcl1130m000) セッション、または距離別ゾーン (fmfrcl1140m000) セッションが開始されるので、該当するゾーン情報を入力します。

ゾーンの使用

[郵便番号] 別ゾーン、[都市] 別ゾーン、および [距離] 別ゾーンを使用して、輸送レートが定義されます。輸送レート帳 (tdpcg0150m000) セッションで、ゾーンのコードが輸送金額にリンクされます。これにより、ゾーンに定義されている郵便番号範囲、都市範囲、または距離内に入る地域で行われる商品の輸送はすべて同じ基本レートになります。つまり、基本重量や運送業者など、輸送レートを構成する他の要素も適用される必要があります。

注意

輸送レート帳 (tdpcg0150m000) セッションでは、[距離] タイプのゾーンコードは選択できません。輸送レート帳 (tdpcg0150m000) セッションで [廃止] 別の輸送レートを定義するには、距離および該当する輸送金額をマニュアルで入力する必要があります。マニュアルで指定された距離が、輸送で定義された [距離] 別の対応するゾーンにリンクされます。

輸送レートおよび輸送費モジュールのゾーン機能は非常に柔軟であるため、さまざまな方法でゾーンを設定できます。

輸送レートの取得

輸送レートは、価格設定に保存され、次の項目でリストされる品目の輸送原価の計算に使用されます。

- 輸送オーダライン
- 輸送オーダクラスタ
- 販売オーダライン
- 販売見積ライン
- 積荷
- 出荷

たとえば、販売オーダラインの輸送原価を決定するために、輸送レート帳から輸送レートが取得されます。正しい輸送レート帳簿の検出のために、輸送レートマトリックスが使用されます。

輸送レートマトリックスは、次のフィールドに基づいて取得されます。

- オーダヘッダまたは請求先取引先 (tccom4112s000) セッションで選択した [請求方法]。請求方法が [クライアントレート] の場合、運送業者レートが検索されます。請求方法が [輸送費] または [輸送費 (更新可能)] の場合、運送業者レートが検索されます。請求方法が [適用なし] に設定されている場合、輸送レートは検索されません。
- 価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [運送業者輸送レート管理] パラメータおよび [クライアント輸送レート管理] パラメータ。[最初のレート] または [最低レート] に設定できます。

輸送レートマトリックスから輸送レートを取得するために、LNにより、マトリックス連番が定義された輸送レートマトリックスで有効な輸送レート帳簿が検索されます。販売オーダライン、出荷、輸送オーダクラスタなどのプロパティと一致するマトリックス定義およびマトリックス属性の輸送レートマトリックスが検索されます。すべてのマトリックス属性が販売オーダライン、輸送オーダクラスタ、出荷などのプロパティと一致する必要があります。検出時には、マトリックス定義とマトリックス属性が保存されている輸送レートマトリックスの輸送レート帳簿が、販売オーダラインの輸送原価の計算に使用されます。

注意

積荷と出荷については、複数の輸送レート帳簿から取得された輸送レートを使用して輸送費を計算できます。この計算は、対象の積荷や出荷のプロパティによって決まります。

価格設定 - その他の処理

価格設定では、特定の状況に応じて多数の処理をオプションで使用できます。

次の処理があります。

- 価格帳のコピー
- 見積の発注先価格帳へのコピー
- 価格情報の削除
- 特定ラインの価格情報の表示
- 在庫残高を在庫レベルに一致
- 価格と値引のグローバル更新
- 品目データから価格帳への価格のインポート
- 一般キーの再作成
- 価格および値引の再計算
- 価格のシミュレート
- ライン値引の表示とメンテナンス

価格帳のコピー

価格帳のコピー (tdpcg0231m100) セッションを使用すると、既存の価格帳データを新しい価格帳または既存の価格帳にコピーできます。データが既存の価格帳にコピーされると、既存の価格帳の価格は更新されます。

見積の発注先価格帳へのコピー

見積は多くの場合価格帳のメンテナンスのために入力されるため、見積依頼の変換 (tdpur1202m000) セッションでは発注先価格帳に見積をコピーできます。

価格情報の削除

価格情報は、価格情報の一括削除 (tdpcg0200m000) セッションで削除できます。

次のセッション (のうち選択されたセッション) から価格設定情報を削除できます。

- マトリックス優先順位 (tdpcg0120m000)
- 販売価格マトリックス (tdpcg0130m010)

- 購買価格マトリックス (tdpcg0130m020)
- 振替価格マトリックス (tdpcg0130m030)
- 販売ライン値引マトリックス (tdpcg0130m110)
- 販売値引合計マトリックス (tdpcg0130m120)
- 購買ライン値引マトリックス (tdpcg0130m130)
- 購買値引合計マトリックス (tdpcg0130m140)
- ライン販促マトリックス (tdpcg0130m210)
- オーダ販促マトリックス (tdpcg0130m220)
- クライアント輸送レートマトリックス (tdpcg0130m310)
- 運送業者輸送レートマトリックス (tdpcg0130m320)
- 価格帳ライン (tdpcg0131m000)
- 値引スケジュール (tdpcg0121m000)
- 輸送レート帳 (tdpcg0150m000)

特定ラインの価格情報の表示

販売および調達のさまざまなラインセッションでは、価格照会 (tdpcg0250m000) セッションにズームして、特定のラインの価格設定情報を表示できます。

次の項目についての価格設定情報を表示できます。

- 見積依頼 (RFQ) ライン
- 購買契約価格改訂 (常に購買契約ラインとリンクされています)
- 購買オーダライン
- 販売見積ライン
- 販売契約ライン
- 販売オーダライン

入庫残高を在庫レベルに一致

入庫残高を在庫レベルに一致 (tdipu0201m000) セッションを使用すると、累計入庫の値を減らすことができます。品目の実際の平均購買価格が必ず計算されるようにするには、このセッションを定期的に行う必要があります。

価格と値引のグローバル更新

価格および値引を一括更新するには、多数のセッションを使用できます。

- 品目レベルの基準価格
品目購買データの価格を一括更新 (tdpcg0232m000) セッションで、購買品目データの基準価格を更新できます。
- 品目販売データの価格を一括更新 (tdpcg0233m000) セッションで、販売品目データの基準価格を更新できます。
- 値引マトリックスでの値引
値引の一括更新 (tdpcg0230m100) セッションでは、値引マトリックス内の値引を更新できます。

- 価格マトリックスと輸送レートマトリックスの価格
これらのセッションでは価格マトリックス内の次の価格を更新できます。
 - 価格マトリックス使用の販売価格一括更新 (tdpcg0230m310)
 - 価格マトリックス使用の購買価格一括更新 (tdpcg0230m320)
 - 価格マトリックス使用の振替価格一括更新 (tdpcg0230m330)
 - 価格マトリックス使用の輸送価格一括更新 (tdpcg0230m340)
- 価格帳内の価格
価格帳使用の価格一括更新 (tdpcg0231m000) セッションでは、価格帳内の価格を更新できます。

品目データから価格帳への価格のインポート

品目データから価格帳に価格をインポート (tdpcg0231m200) セッションを使用すると、次のセッションのいずれかから価格を価格帳にインポートできます。

- 品目 - 販売 (tdisa0501m000)
- 品目 - 購買 (tdipu0101m000)
- 品目 - 原価計算 (ticpr0107m000)
- 品目 - サービス (tsmdm2100m000)

一般キーの再作成

データベースが破損している場合、一般キーの再作成 (tdpcg0230m200) セッションを実行して、価格マトリックス内のデータを復元できます。

価格および値引の再計算

価格および値引の再計算パラメータ (tdpcg0240s000) セッションを使用すると、見積および見積ラインやオーダーおよびオーダーラインの価格と値引を再計算できます。

再計算の実行対象エンティティは、価格および値引の再計算パラメータ (tdpcg0240s000) セッションを開始するセッションによって決まります。

価格のシミュレート

価格シミュレータ (tdpcg0200m300) セッションでは、取引先および日付を基準として、特定の(販売または購買) 品目の価格をシミュレートできます。[計算] ボタンをクリックすると、価格設定属性変更 (tdpcg0200m100) セッションが開始され、シミュレーションする新規価格のデータを入力できます。

ライン値引の表示とメンテナンス

販売および調達のさまざまなラインセッションから価格設定にズームして、ライン値引の表示および入力を行うことができます。

次のライン値引セッションを使用できます。

- ライン値引 (tdpcg0200m200)

- ライン値引スケジュール (tdpcg0521m100)

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

販売オーダーライン

販売オーダーは、特定の条件にしたがって顧客に納入される品目を含みます。販売オーダーのラインは、オーダーされる品目、および関連する価格合意や納期の記録に使用されます。

有効化コード

有効化構成品目に関する差異をモデル化するために使用する、販売オーダーラインやプロジェクト成果物ラインなどの参照番号

作業外注

品目の製造工程における 1 つまたは複数の作業が外注先に委託されます。

品目外注

品目の製造工程全体が外注先に委託されます。

サービス外注

品目のサービス関連の作業を別の会社に割り当てます。メンテナンスまたは修理プロセス全体を割り当てる場合と、その一部だけを割り当てる場合があります。サービス外注には、資材フローサポートを使用する場合と使用しない場合があります。

積荷構築

輸送の輸送計画エンジン。積荷構築エンジンは、輸送を必要とする商品を出荷および積荷にグループ化します。

価格設定情報

価格設定情報には、価格、値引、販促、および輸送レートが含まれます。価格マトリックスを使用する場合、価格情報は、属性と値のセットについてメンテナンスされます。属性はマトリックス定義で定義され、値は該当する価格マトリックスで定義されます。

例

次の属性および値について価格を定義できます。

属性	値
販売先取引先	Apex Wholesellers, Inc
受渡条件	CoD (代金引換)
品目	缶切 aw10

価格マトリックス

価格設定マトリックスは、顧客、発注先、品目に関して価格、値引、輸送レート、または販促をメンテナンスするエンティティです。

価格設定には、次のタイプのマトリックスを利用できます。

- 価格マトリックス
- 値引マトリックス
- 販促マトリックス
- 輸送レートマトリックス

原則的に、価格設定マトリックスには次の要素が含まれます。

- マトリックスタイプ
- マトリックス定義
- マトリックス属性のセット
- 価格帳、値引スケジュール、販促、または輸送レート帳簿などの価格設定情報

マトリックスタイプおよびマトリックス定義によって、使用可能なマトリックス属性が決まります。価格設定情報は、価格設定マトリックスのタイプによって決まります。

例

価格マトリックスで、次の属性および値の価格を指定できます。

属性	値
販売先取引先	Apex Wholesalers
受渡条件	CoD (代金引換)
品目	缶切 aw10

「Apex Wholesellers」の品目「缶切 aw10」についてオーダが入力され、受渡条件が「CoD」の場合、価格マトリックスでメンテナンスされる価格を使用して、オーダの価格が計算されます。

価格帳

指定された期間で有効な価格情報を保存できるエンティティ

価格帳には、次の要素が含まれています。

- 価格帳のコード、タイプ、および使用法を含む価格帳ヘッダ
- 品目を含む 1 つ以上の価格帳ライン

数量または価格境界値引スケジュールは価格帳にリンクできます。

発注先価格帳

標準の購買価格帳で、以下を保存します。

- 購買元取引先、出荷元取引先、またはその両方による、品目のデフォルトの購買価格
- 見積依頼回答からコピーされた価格
- デフォルトの品目の価格

値引スケジュール

指定した期間中に有効な値引情報を保存し、品目の値引計算に使用できるエンティティ

値引スケジュールには、次の要素が含まれています。

- 値引スケジュールのコード、タイプ、および使用法を含む値引スケジュールヘッダ
- 値引を含む 1 つ以上の値引スケジュールライン

値引スケジュールで指定される値引は割合または金額で表され、最大または最小の数量または値が設定されています。

値引スケジュールは、価格帳にリンクすることができます。

販促

選択した品目の事前定義済のオーダーレベルに基づいて販売オーダーに追加の値引、割引、またはプレミアムを適用すること。販促の基本タイプには、オーダーレベルとラインレベルの 2 種類があります。

ゾーン

距離または地理的地域。ゾーンは輸送レートを定義するために使用されます。輸送レートを定義するために、ゾーンによって定義されている地理的地域は、価格設定の輸送金額とリンクしています。このように輸送レートを使用すると、ゾーンで定義されている地域での商品輸送の費用が算出されます。つまり、基本重量や運送業者など、レートを構成する他の要素が有効な場合、エリア内での商品輸送にはすべて同じレートが適用されることとなります。

以下のタイプのゾーンを使用できます。

- [郵便番号]
- [都市]
- [距離]
- [適用なし]
- 注意: [ゾーンタイプ] は価格設定において輸送レートの定義に使用されません。

輸送レート

積荷、出荷、および以下のタイプのオーダーにリストされている品目の輸送費を計算するために使用されるレート

- 輸送オーダー
- 販売オーダー
- 販売見積

輸送レートは、価格設定の輸送レート帳で定義されます。輸送レートは、距離、重量、およびその他さまざまな属性によって定義されます。

例

重量	評価方法	サービスレベル	金額	距離
100 kg	距離	速達便	USD 150	50 km

販売契約

販売契約は、商品の納入について、販売先取引先との合意を登録するために使用します。

契約は次の要素で構成されます。

- 一般取引先データが記載され、オプションで条件合意が記載された販売契約ヘッダ
- 品目または価格グループに適用される価格/値引合意および数量情報を持つ、1つまたは複数の販売契約ライン

運送業者

輸送サービスを提供する組織。積荷構築、輸送オーダークラスタ、輸送コスト計算、および請求に運送業者を使用するには、共通情報で運送業者を運送業者と購買元取引先の両方として定義する必要があります。運送業者は運送業者とも呼ばれます。

同義語: ロジスティックサービスプロバイダ (LSP)

サービスレベル

特急納入や12時間以内の納入など、商品の輸送に関して運送業者が提供するサービスのレベル。通常、サービスレベルは、輸送サービスの価格を計算するために運送業者が使用する輸送レートと関係があります。

マトリックス定義

価格設定マトリックスが価格、値引、販促、または輸送レートの決定に使用する要素 (マトリックス属性) のグループを定義します。

たとえば、家具販売店を営んでいて、次の 2 つの要素に基づいて販売価格をメンテナンスするとします。

- 販売する特定品目
- 支払の処理方法

この場合、マトリックスタイプは [販売価格]、マトリックス定義は「Furni (この名称はユーザ定義可能)」、マトリックス属性は [品目] および [支払方法] です。

輸送レート帳

特定期間に有効な輸送レート情報を保存できるエンティティ

輸送レート帳には、次の要素が含まれます。

- 輸送レート帳ヘッダ: コード、評価方法、距離単位、および無料距離が含まれます。
- 1 つまたは複数の輸送レート帳ライン: 運送業者やサービスレベルなどの属性の組合せに使用する輸送レートが含まれます。

輸送レート帳で指定される輸送レートは、最小重量、最大重量、距離、またはその他のレート値に依存します。

クライアントレート帳

取引先に対して輸送協定をメンテナンスできる輸送レート帳

運送業者レート帳

運送業者に対して運送協定をメンテナンスできる輸送レート帳

郵便番号別ゾーン

[郵便番号] タイプのゾーン。このタイプのゾーンは、1 つまたは複数の発生元地域および目的地地域によって定義される地理的地域で構成されます。発生元地域は、発生元国と発生元地域から構成されます。目的地地域は、目的国と目的地地域から構成されます。発生元地域および目的地地域 (これらの地域は共通情報で定義されている地域とは関係ありません) はどちらも [郵便番号] コードの範囲により定義されます。発生元地域と目的地地域の間にある場所がゾーンに含まれます。

例

ゾーン ZC1: 発生元国: オランダ。発生元地域: 郵便番号 1000 AA ~ 1050 ZZ (アムステルダムおよびその近郊)。目的地国: オランダ。目的地地域: 3100 AA ~ 3145 ZZ (ロッテルダムおよびその近郊)。

都市別ゾーン

[都市] タイプのゾーン。このタイプのゾーンは、発生元国の発生元都市と目的国の目的地都市によって定義されます。各ゾーンに、発生元国/都市と目的国/都市の組合せをいくつか定義できます。

例

ゾーン ZC1 発生元国: オランダ。発生元都市: アムステルダム。目的地国: オランダ。目的地都市: ロッテルダム。

ゾーン ZC2 発生元国: 英国。発生元都市: ロンドン。目的地国: ベルギー。目的地都市: アントワープ。

ゾーン ZC3 発生元国: オランダ。発生元都市: アムステルダム。目的地国: オランダ。目的地都市: ハーグ。発生元国: オランダ。発生元都市: アムステルダム。目的地国: オランダ。目的地都市: ユトレヒト。

距離別ゾーン

[距離] タイプのゾーン。このタイプの [ゾーン] は、距離から構成されます。

例

ZD1 100 キロメートル

ZD2 500 キロメートル

ZD3 1000 キロメートル

クライアントレート

クライアントレートは、組織の取引先との間で合意された輸送レートです。このレートは、価格設定のクライアント輸送レート帳でメンテナンスされます。また、クライアントレートは輸送費に対する請求額を計算するために使用される請求方法の 1 つにもなります。

クライアントレート

顧客および発注先によって合意される輸送レート

ロジスティックサービスプロバイダ (LSP)

次を参照してください: 運送業者 (ページ 49)

運送業者レート

所定の数の商品の輸送費を計算するために運送業者が使用する輸送レート

修理価格帳

内部固定修理価格の保存に使用する価格帳

記述を使用して、独自の修理価格帳を作成できます。

更新価格

有効化構成 (UEF) の要件に対して定義されている価格。この要件が有効化コードの構成で使用されている場合、更新価格は有効化コードの販売価格に加算されます。

境界タイプ

品目の距離、金額、オーダー数量など、エンティティの範囲の境界をどのように定義するか指定するエンティティ。この場合、境界は範囲の最初または最後の数です。境界タイプの値は次のいずれかです。

[最小]: 境界は範囲の最小の数です。

例

境界タイプが最小

オーダー数量	値引
10	3%
50	5%

この場合、境界は 10 と 50 です。オーダー数量が 10 以上 50 未満の場合、値引は 3% です。オーダー数量が 50 以上の場合、値引は 5% です。

[最大]: 境界は範囲の最大の数値です。

例

境界タイプが最大

距離	輸送レート
100	10
1000	50

この場合、境界は 100 および 1000 です。総額が 100 以下の場合、値引は 0% です。距離が 100 より大きく 1000 以下の場合、レートは 50 です。

契約価格改訂

購買契約ラインの価格要素および値引要素についての、日付管理された合意。価格改訂を使用すると、長期にわたって複数の価格を有することができます。有効な改訂は、発効日から次の改訂の発効日まで、または契約ラインの有効期限まで有効です。

値引額

取引先に付与される値引で、単位ごとに計算され、値として表されます。たとえば 3 ユーロのように表されます。

値引率

総売上価格または購入価格から差し引くことができる割合

総額

合計金額。ここから税金、リベート、値引などを差し引くと正味金額が得られます。総額を求めるには、(帳簿) 価格にオーダ数量を掛け合わせます。

マトリックス属性

価格、値引、販促、または輸送レートの定義に使用される要素のリスト。マトリックス属性のグループはマトリックス定義とタイプで識別されます。

たとえば、家具販売店を営んでいて、次の 2 つの要素に基づいて販売価格をメンテナンスするとします。

- 販売する特定品目
- 支払の処理方法

この場合、マトリックスタイプは [販売価格]、マトリックス定義は「Furni (この名称はユーザ定義可能)」、マトリックス属性は [品目] および [支払方法] です。

価格設定マトリックスで、そのマトリックス属性の値を指定します。

マトリックス優先順位

マトリックスタイプについて、マトリックス定義が検索される順序

マトリックスタイプ

マトリックス属性のセットにリンクされているマトリックス定義のタイプを定義します。

価格設定で以下のマトリックスタイプが使用可能です。

- [販売価格]
- [販売ライン値引]
- [販売値引合計]
- [購入価格]
- [購入ライン値引]
- [購入値引合計]
- [振替価格]
- [ライン販促]
- [オーダ販促]
- [クライアント輸送レート]
- [運送業者輸送レート]

各タイプには、独自の属性の選択肢が用意されています。マトリックスタイプごとに、最大 6 つの属性の組合せによってマトリックス定義を指定します。

正味額

総額から値引を差し引いた金額。正味の値は、常に取引通貨で示されます。

複数の値引レベルが使用された場合、正味額は総額から以前のレベルでの値引が差し引かれて算出されます。

通常契約

顧客指向の契約で、発注者と顧客によって合意され、特定合意を記録するために使用されます。通常契約は、通常、約 1 年間有効です。

特定期間の同じ取引先に別の有効な契約が存在する場合は、通常契約を有効にすることはできません。

オーダー値引

合計オーダー金額から差し引かれる値引率または値引額

同義語: 値引合計

値引合計

次を参照してください: オーダー値引 (ページ 54)

オーダーライン値引

オーダーラインの金額から差し引かれる割合または金額

プレミアム

販促の一環として顧客に提供される無料品

販促グループ

同じ販促属性値を共有する品目、販売先取引先、または販促をメンテナンスするエンティティ

購買オーダーライン

次のような内容についての詳細情報が記録された購買オーダーのライン

- オーダー品目
- 価格合意
- 納期
- 出荷
- 請求

購買オーダーに 1 つ以上のラインを持つことができます。

見積ライン

提案された品目と同様に関連した価格合意と数量を記録するために使用するライン。販売見積は 1 つ以上の見積ラインを含んでいます。

見積依頼 (RFQ) ライン

見積依頼 (RFQ) において、所要数量、納入時刻、納入倉庫などの品目詳細を含むライン

この品目ラインが入札者に送られます。入札者は各品目について個別に回答できるだけでなく、所要品目の代替品目を提案できます。

特別契約

顧客指向の契約で、購買元取引先と販売先取引先によって合意され、特別なプロジェクトの特別な合意を記録するために使用されます。特別契約は、販促契約の場合もあります。

特別契約では、同じ品目/取引先の組合せについて、有効期間の重複が許可されます。

索引

- 適切なメニュー, 45
 - 販売オーダーライン, 45
 - 決定, 24
 - 有効化コード, 45
 - 見積
 - 発注先価格帳へのコピー, 41
 - 作業外注, 45
 - 品目外注, 45
 - サービス外注, 45
 - 積荷構築, 45
 - 価格設定
 - オプション処理, 41
 - 概要, 7
 - マトリックス構造, 7
 - 価格管理マトリックス, 7
 - 価格設定情報, 46
 - ラインの表示, 42
 - 削除, 41
 - 取得, 10
 - 価格設定情報の取得, 10
 - 価格の取得, 15
 - 値引の取得, 25
 - 販促の取得, 32
 - 輸送レートの取得, 40
 - 価格マトリックス, 47
 - 価格マトリックス, 11
 - 設定, 11
 - 値引マトリックス, 17
 - 販促マトリックス, 29
 - 輸送レートマトリックス, 35
 - 価格帳, 47
 - コピー, 41
 - 価格の更新, 42
 - 設定, 13
 - 発注先価格帳, 14
 - 品目データからの価格のインポート, 43
 - 発注先価格帳, 48
 - 見積のコピー, 41
 - 設定, 14
 - 価格情報の取得, 15
 - 値引マトリックス
 - 設定, 17
 - 値引スケジュール, 21, 48
 - 設定, 19
 - 契約
 - 値引スケジュールのリンク, 21
 - 購買契約価格改訂
 - 値引スケジュールのリンク, 21
 - 販売契約価格改訂
 - 値引スケジュールのリンク, 21
 - 複数の値引レベル, 24
 - 値引
 - ライン値引の表示, 43
 - 更新, 42
 - 再計算, 43
 - 適合および決定, 24
 - 複数のレベル, 24
 - 適合, 24
 - 値引価格の取得, 25
 - 販促マトリックス
 - 設定, 29
 - 販促, 48
 - タイプ, 31
 - 販促情報の取得, 32
 - 輸送レートマトリックス
 - 設定, 35
 - 輸送レート帳簿
 - 定義, 37
 - ゾーン, 39, 48
 - 輸送レートの取得, 40
 - 在庫残高
 - 在庫レベルとの一致, 42
 - 在庫レベル
 - 在庫残高との一致, 42
 - 価格
 - シミュレーション, 43
 - 更新, 42
 - 再計算, 43
 - 輸送レート, 49
 - 更新, 42
 - 品目価格
 - 価格帳へのインポート, 43
 - 一般キー
 - 再作成, 43
-

ライン値引
表示, 43
販売契約, 49
運送業者, 49
サービスレベル, 49
マトリックス定義, 50
輸送レート帳, 50
クライアントレート帳, 50
運送業者レート帳, 50
郵便番号別ゾーン, 50
都市別ゾーン, 51
距離別ゾーン, 51
クライアントレート, 51, 51
ロジスティックサービスプロバイダ (LSP), 49
運送業者レート, 51
修理価格帳, 51
更新価格, 52
境界タイプ, 52
契約価格改訂, 52
値引額, 53
値引率, 53
総額, 53
マトリックス属性, 53
マトリックス優先順位, 53
マトリックスタイプ, 53
正味額, 54
通常契約, 54
オーダー値引, 54
値引合計, 54
オーダーライン値引, 54
プレミアム, 54
販促グループ, 54
購買オーダーライン, 54
見積ライン, 54
見積依頼 (RFQ) ライン, 55
特別契約, 55
